

「MACHITERASU」

初めまして！

松江北高校出身、法政大学4年生の野津直生(のつすなお)と申します。

今回はこのように北高の諸先輩方に発信させていただく機会をいただき大変嬉しく思っております。

まず、私が何者かというところですが、松江出身で松江第一中学校からそのまま松江北高校へ進学、卒業後、法政大学の経済学部に進学。

1年休学を挟み、4年生として最後の学生生活1年間を迎えます。現在、年齢は22歳です。



そんな私ですが、今回は自分がやっている活動について少々お見知り置きをしていただきたく、筆を執らせていただきます。

私は去年2019年の末に島根県内の中小企業24社の創業ストーリー、社内で働く方々の想いに特化して取材をした企業紹介冊子を、県内の高校2年生に向けて全7,500部を発行し寄贈致しました。島根県の教育委員会からも後援をいただき、行政・民間・学校と各所の関係者の方々と協働して、なんとか形になりました。

紙の媒体と同時にWEBサイトも作成いたしましたので、よろしければご覧ください。「MACHITERASU」と検索していただければ上に出てくるかと思います。

「MACHITERASU」

そんな冊子の企画開発を行ったきっかけは、私自身の立場・体験から湧き起こりました。

喫緊の問題として、島根県は若年層の人口流出という問題を抱えています。最近のデータによると、県内の高校を卒業する若者の約半分の若者が県外へ出て行っています。

県外に出ること自体、私自身は大変意義があることだと感じておりますが、島根県を始めどの地域にもその地域を担う若者の存在は大変重要です。

私も島根を離れた若者の一人でした。

島根で生まれ育ち、高校まで松江で過ごし、大学進学を機に東京へ上京し、2021年からは東京のIT企業に入社するのが決まっています。

島根県の情勢や、経済など常に気になっているところですが、最初の生活の場所を選んだのは東京。就職先もそれに伴い東京です。

自分のキャリア選択に対して絶対的な自信を持っておりますが、お世話になった人も多くいる島根県の未来に対しては常に危機感を抱いています。

そしてもう一つ。

私の父と母は、松江市で中小企業を営んでおります。

私が生まれた頃から、若くして事業を起こし、汗水垂らして私と妹を何不自由なく育て上げてくれました。本当に感謝しています。

事業内容としても、最初は全国のお弁当チェーンのフランチャイズからスタートし、高齢化の波を受けて介護事業者への食事卸しに事業転換、その後、島根県の中山間地域にお住まいのご高齢の方々へ向けて、食事の個配や、買い物支援事業、ごようきき(いわゆる何でも屋)のサービスを提供したりと、ソーシャルな分野にも領域を広げています。2年ほど前には中国に総菜店を出店したり、地域の皆様の支えもあり、ここまで事業をやってくることができました。

ただ、ここにも若者流出の影響が押し寄せています。

両親の企業は比較的に県内の企業の中では、採用活動はうまくいっていて、例年大卒者、高卒者ともに若干名の採用は確保できていました。

しかし、その数字も近年怪しくなっており、よくしていただいている他の企業さんの採用も危ういところが多いと聞いています。

私が昔からお世話になっている企業さんは、とても魅力的な事業をされていたり、社員の方々、社長にも魅力が溢れているにも関わらずどうして採用がうまくいっていないのか。そして、何より、このような企業が人手不足により無くなってしまえば、今後の地域の未来・経済は誰が担っていくのか。そんな一抹の不安がありました。

そのような企業の問題と同時に、若者の課題も多くあります。

今回のMACHITERASUでは、対象をあえて「高校2年生」に絞り、高校生就職の領域で活用される冊子・サイトを目指しました。

意外と知られていませんが、高校生の就職活動には問題が山積しています。

大卒者の就職活動では、時間がたっぷりあります。

しかし、高校生は部活の大会が終わった瞬間に進路選択を迫られ、たった2週間~1ヶ月のうちに就職先を決定しなければなりません。

また、大卒者・転職者の就職活動では数社同時にエントリーできるのは当たり前ですが、高校生は1人1社しかエントリーができません。(一部地域では是正されているところもあります。)

そんな制約だらけの就職活動の影響もあり、3年以内の離職者は40%にも及びます。もちろん離職理由として悪い理由だけではないかもしれませんが、大卒者のそれに比べて10%も高いのは何かしら問題があると言わざるを得ません。

そんな問題に対して、
もっと社長の口から語られる創業のストーリーを
もっと社員一人ひとりが持つ仕事への想いを
普段高校生が触れないような職種の人たちの”はたらく”を

もっと自然に読み物として手に取ってもらいたい。

そして、
もっと高校生に”はたらく”を
自分が生活している地域にこんなにも面白い人たちが熱を持って働いているということを
自分にもその道を選択する道が拓けているということを
感じてもらいたい。
そんな想いで約1年間の準備期間、取材編集期間を経て、発刊いたしました。

まだまだ、改善していく余地があり、方々から意見をいただきながら創り上げている最中です。
理想のサービスには程遠いですが、このような機会をいただけたので、ここまで読んでくださっている皆様の頭の片隅にでもこの活動が残ってくれば幸いです。
ありがとうございました！

事業の進捗は都度 SNS でも発信しておりますので、よろしければフォローしていただければ幸いです。

◆WEB サイト

<https://machiterasu.com>

[「MACHITERASU」](#)

◆Twitter

<https://twitter.com/MachiTerasu>

「MACHITERASU」

◆Instagram

https://www.instagram.com/machi_terasu/?hl=ja

「MACHITERASU」

◆Facebook

<https://www.facebook.com/machiterasu.shimane/>

「MACHITERASU」

※ご意見、ご感想やWEB サイトへの掲載依頼は随時承っています。お問い合わせのメールもお待ちしています。

メールアドレス：info@oneterasu.co.jp

2020 年 3 月 6 日掲載